



学校便り 琢磨

令和5年度 第22号 R5.12.22 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える

【令和5年度 校内マラソン大会】

1年男子

- 1位 汐見 昂道 3分48秒
- 2位 風間 大地 3分51秒
- 3位 久原 凱斗 3分55秒
- 4位 藤田真旺人 3分56秒
- 5位 松井 景 3分57秒
- 6位 高尾 征良 4分8秒

1年女子

- 十川 華 3分52秒
- 犬伏瑠衣絆 3分54秒
- 磯崎 咲帆 3分55秒
- 糸 美羽 3分55秒
- 森安 優希 4分23秒
- 田中 美羽 4分28秒

2年男子

- 藤田 眺翔 3分33秒
- 江口 玖蘭 3分37秒
- 森岡 大輝 3分44秒
- 高尾 宙良 3分45秒
- 森 海晴 3分48秒
- 林 風汰 3分52秒

2年女子

- 江口くらら 3分43秒
- 真鍋 陽菜 3分45秒
- 十河 璃緒 3分50秒
- 真鍋 羽菜 3分54秒
- 三好 紬稀 4分0秒
- 名越 望来 4分9秒

3年男子

- 1位 大谷 琉真 4分12秒
- 2位 林 舜二郎 4分12秒
- 3位 大西 純聖 4分14秒
- 4位 川原 光琉 4分24秒
- 5位 桑田 和馬 4分26秒
- 6位 喜田 晴翔 4分28秒

3年女子

- 風間つばさ 4分35秒
- 谷渕 杏奈 4分45秒
- 磯崎 日快 4分53秒
- 亀野 小夏 4分55秒
- 清水 紗那 4分57秒
- 西原 青 4分59秒

4年男子

- 百々 勇太 4分18秒
- 汐見 遥馬 4分18秒
- 安藤 唯人 4分23秒
- 塚本 陽生 4分25秒
- 岡崎 空雅 4分26秒
- 三崎 凜青 4分27秒

4年女子

- 犬伏莉々綺 4分24秒
- 定岡 照磨 4分30秒
- 磯崎 唯乃 4分40秒
- 曾根愛央衣 4分48秒
- 福岡 咲月 4分53秒
- 曾根由莉奈 5分0秒

5年男子

- 1位 吉田 貫汰 4分44秒
- 2位 片岡 洸太 4分47秒
- 3位 三崎 陽登 4分57秒
- 4位 宮本 航瑠 5分2秒
- 5位 横下 蓮 5分4秒
- 6位 川原 空澄 5分4秒

5年女子

- 池田 絢 5分7秒
- 本條 莉梨 5分12秒
- 詫間 萌奈 5分17秒
- 大平 惺久 5分28秒
- 長池 杏夏 5分34秒
- 大西 望愛 5分38秒

6年男子

- 林 展一郎 4分36秒
- 田坪 希星 4分37秒
- 犬伏 玲煌 4分40秒
- 真鍋 清悟 4分52秒
- 磯崎 帆孝 4分56秒
- 百々壯太郎 5分2秒

6年女子

- 伊瀬日南子 5分24秒
- 山下ひなた 5分29秒
- 横山 繭子 5分33秒
- 大西 那央 5分50秒
- 西原 詩 5分53秒
- 久保 瀬凪 5分57秒

※ 敬称は略します。おめでとうございます。表彰状の伝達は、本日の終業式の前に行いました。

第4回昼休み芸能・自慢大会

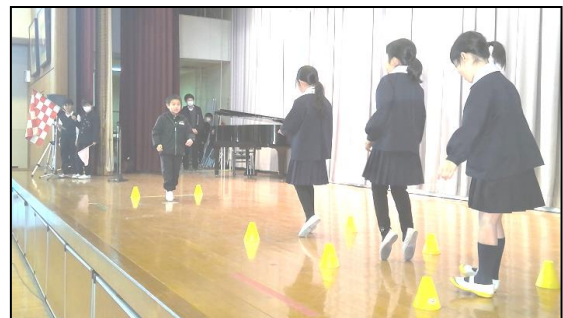
12月19日(火)。昼休みに、児童会主催の「第4回昼休み芸能・自慢大会」が行われました。

今回も8組18人もの子どもたちが出場してくれました。ゲーム、ピアノ演奏、縄跳び、クイズ、声まね、マジック、コントと、楽しい出し物、素敵な発表をしてくれました。

出場申込をしてくれている子どもたちは、1月、2月で第5回～第8回の芸能・自慢大会を予定していますので、しっかり練習しておいてくださいね。

第5回は、1月23日(火)の昼休みに実施です。

第5回の出場者には、2学期中にお知らせします。次回は、教員も2組出場しますよ！



2学期も「学校便り 琢磨」をお読みくださりありがとうございました。この学校便りや学校運営についてご意見・ご感想をいただくと幸いです。3学期にお子様を通じて担任までお願いします。

顔を洗ったら、まず手を拭きなさい！

「トイレの神様」の歌ではありませんが、私の幼い頃の記憶は、母親との思い出よりは、近所に住んでいた祖母との思い出の方がはるかに多いのです。祖母とは、一緒には住んでいなかったのですが、当時としては珍しく、私の両親は、ともに勤め人だったため、日中は、祖母と接する機会が圧倒的に多かったからかも知れません。明治生まれで、少しだけですが代替教員をしていた祖母は、結構、いろいろ細かな所まで私に教えて（しつけて）きました。そのいくつかを紹介します。

冬のある日。私は、水道の蛇口から水を出して顔を洗っていました。顔を洗い終わって、タオルで顔を拭こうとしたら、私の後ろに立っていた祖母に、「こら、手を拭きなさい。」と叱られました。「顔を洗ってるんやから、顔を拭くやろ！」と反論すると、「手を拭いてから顔を拭くんや！」と言われ、仕方なくその通りにしました。すると、祖母は、「それでええ。先に顔を拭いたら、手についている水が袖の中に流れ込んでくるやろ。先に手を拭くと、袖の中が濡れんでええんや。」と。ここで私は、何とかやっと納得できたのです。それでも、本当にそうなのかなあとは思っていました。

別の日に、私は、水道の蛇口から水を出して顔を洗っていました。近くに祖母はいませんでした。顔を洗い終わって、タオルで顔を拭きました。祖母の言葉なんてすっかり忘れてしまいました。すると、すーっ、すーっとして手から水滴が流れ落ちて袖の中に入り、長袖のシャツが濡れてしまいました。冷たくて気持ち悪いと思った瞬間、祖母の言葉を思い出しました。それからというもの、顔を洗った後、私は、必ず手を先に拭くようになりました。

これが、暑い夏の日、半袖かランニングシャツを着ていた時に教えられていたとしたら、あまり効果がなかったかも知れません。祖母が、私にこれを教えた日は、寒い冬の日でした。

今では、「お年寄りの知恵袋」なんてことを理解できますが、幼い子どもにとって、大人から教えられることって、結構、理解できていないことの方が多いのかも知れません。でも、私は、教育（教え）というのは、肥やしのようなものだと思っています。肥やしは土にしみこんで、すぐにではなくてもいつか効く時がくるように、教育も子どもの心の中にしみこんでいて、いつか必ず効く時がくると思うのです。

（前にも書いたので知っている人もいますが）今朝のように冬の寒い朝、祖母は独り言のように学校へ行く準備をしていた姉と私に言いました。「こんな大霜の寒い朝こそ、ちょっと辛抱しといたら、昼間は、ぬくう（暖かく）なるんや。」と。白い息を吐きながら、日陰を走り、日向になったら歩き、それを繰り返し「寒い、寒い！」と言いながら登校した日の昼間。運動場で上着を脱ぎ捨てて走り回る私たちがいました。還暦を過ぎて（きつと、あの時の祖母と変わらないくらいの年になって）祖母のあの言葉を思い出すと、どう考えても天候のことだけを言っているようには思えないのです。今の私には、50数年前の祖母のつぶやきは、人生についての教訓としか思えないのです。

そんな祖母が一年中で一番輝いて見えたのが、「お餅つき」の日でした。家族や職人さんが数十人集まった「ひろな」（広場のような家の庭）で、餅つきの全ての指揮をするのが祖母でした。この日ばかりは、いつもは祖母を怒鳴りつけている祖父も、何も言わずに従っていました。朝から餅米を炊いて（祖母が指揮：お母さんたちの役割）、臼と杵で餅を何回もついて（祖母が指揮：お父さんや職人さんたちの役割）、餅のかたまりから1つ分の餅をどんどんちぎり取り、軽くもんで、ぼんと板の上に投げる祖母の姿は、とてもかっこ良かったです。それを私たち子どもが、さらにきれいに丸めて、板でできた大きな長方形の入れ物の中に並べていきます。一日がかりの大仕事で、その入れ物は、何十枚もできていました。

そういえば、このような餅つきは、もう長いことしていないように思います。